リニア中央新幹線2027年開業!!

# リニア中央新幹線とは

リニア中央新幹線は、東京都から甲府市附近、名古屋市附近、奈良市附近を経由して大阪市までの約438kmを超電導リニアによって結ぶ新幹線です。

## リニアへの期待

### 1 圧倒的なスピード

リニア中央新幹線は、航空機並みのスピードと新幹線の高速大量輸送能力を伴せ持った画期的な輸送機関です。

リニア中央新幹線は、航空機のような搭乗手続時間は必要ありませんので、実質的なスピードは航空機よりも速いと言えます。

### 2 災害に強い国土の形成

東日本大震災の教訓を踏まえ、日本の大動脈である東海道新幹線との二重系化により災害に強い国土づくりを進めるためにも、リニア中央新幹線の早期全線整備は一層重要性を増しています。

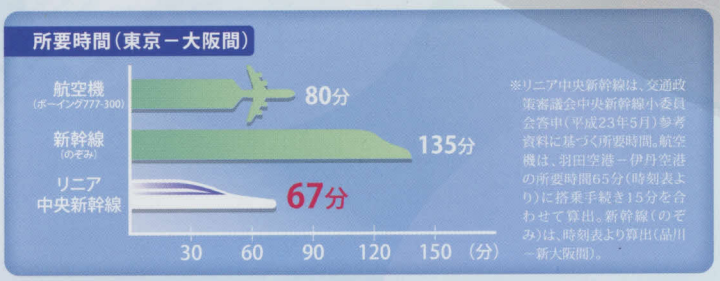
### 3 大交流リニア都市圏の誕生

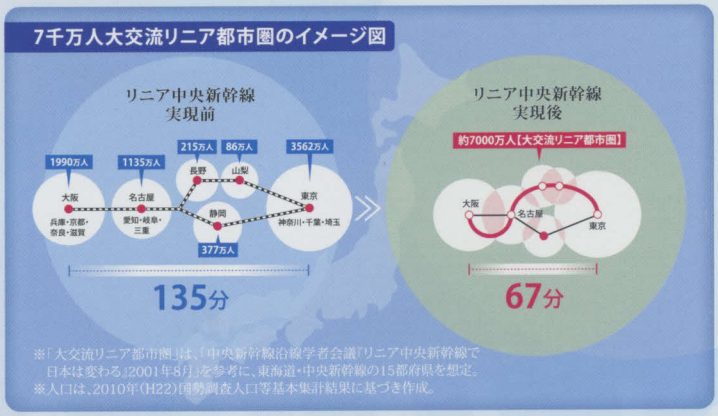
リニア中央新幹線は、移動時間を大幅に短縮することにより、数百kmという距離の壁をなくします。

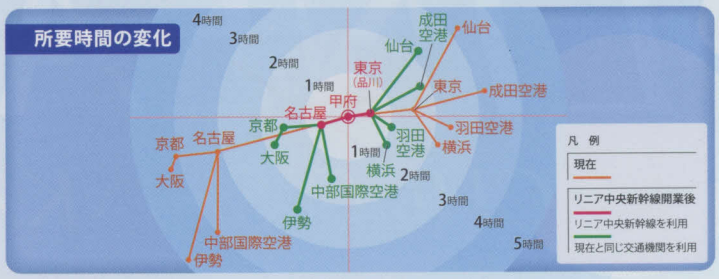
このため、約7千万人の人口が集中し、経済や文化の活力がみなぎった地域があたかも一つの都市のように機能する大交流リニア都市圏が誕生します。

### 4 山梨は東京・世界と近くなる

リニア中央新幹線が開業すると、全国各地と山梨県との時間距離が大幅に短縮されます。特に中京圏、関西圏が無理なく日帰り可能な範囲になるメリットは大きいと考えられます。また、成田、羽田、中部の各空港が近くなることで、世界と山梨県もぐっと近づきます。




## リニアのこれから

### 1 ルートと駅

リニア中央新幹線の建設主体であるJR東海は、環境影響評価手続きの中で中央新幹線の東京都・名古屋市間のルートと駅位置を示しました。

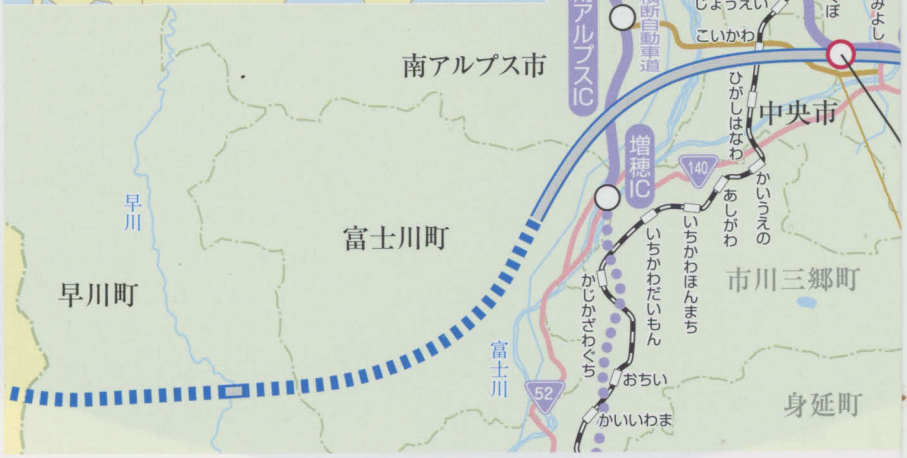
山梨県内の路線延長は83.4km（地上部27.1km、トンネル56.3km）で山梨県駅は甲府市大津町付近に設置される計画です。

### 2 リニア中央新幹線開業まで

平成23年5月に整備計画決定、建設指示がなされ、実現に向けて大きく前進したリニア中央新幹線。

JR東海による東京都・名古屋市間の環境影響評価の手続きを経て、平成26年10月、全国新幹線鉄道整備法に基づく「工事実施計画」が認可され、リニア中央新幹線（品川・名古屋間）は建設段階に移りました。

平成39年（2027年）東京都－名古屋市間開業（予定）
平成57年（2045年）名古屋市－大阪市間開業（予定）



# リニア実験線の今

富士山の北側を走る「山梨リニア実験線」では、平成9年（1997年）から走行試験が行われており、現在は営業線仕様第一世代となるL0（エル・ゼロ）系による走行試験が行われています。

## 実験のあゆみ

昭和37年に始まった超電導磁気浮上式鉄道の研究の開発は、平成9年に宮崎実験線から山梨リニア実験線へと研究の場を移しました。

山梨リニア実験線では、宮崎実験線での基礎技術開発の成果を基に、超電導リニアの車両開発はもちろん、運転保安システムの開発や長期耐久性の検証など、リニア技術の確立に向けた様々な試験が、日本特有の起伏に富んだ地形・環境の中で行われています。

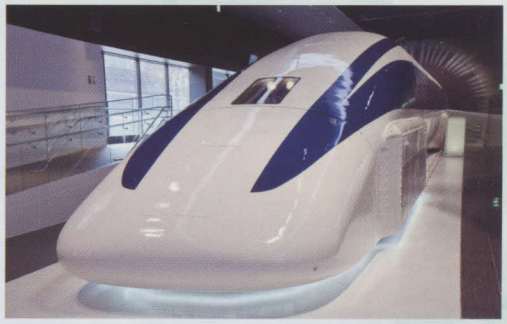
こうした中、平成21年7月には、国の「超電導磁気浮上式鉄道実用技術評価委員会」において、「営業線に必要となる技術が網羅的、体系的に整備され、今後詳細な営業線仕様や技術基準等の策定を具体的に進めることが可能となった」との評価を得ました。さらに平成27年4月には有人走行で世界最高速度603km/hを記録するなど、その実現に向け大きな成果を上げています。

42.8kmに延伸された山梨リニア実験線を走行する超電導リニア。
甲府盆地や南アルプスなどの景色とともに楽しむことができる。（笛吹市：御坂町花鳥山）

## 実験の概要と走行試験

平成25年に42.8kmまで延伸、設備も全面的に更新された山梨リニア実験線では同年9月以降、新型車両（L0系）により、走行試験を再開し、実用技術として完成した超電導リニア技術のブラッシュアップ及び営業線の建設・運営・保守のコストダウンに取り組んでいます。

また、平成26年11月からは、走行試験スケジュールの一部を活用して超電導リニアの高速走行を体験することができる「体験乗車」を実施しています。



平成15年に当時の世界最高速度581km/hを記録した試験車両MLX01-2。
現在は山梨県立リニア見学センターどきどきリニア館1階に展示されている。
（都留市：山梨県立リニア見学センター）

営業線仕様のL0（エル・ゼロ）系車両。
現在はこの車両で走行試験が行われている。
（都留市：山梨実験センター付近）

※中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価書（平成26年8月）より作成

# 山梨県立リニア見学センター

山梨県立リニア見学センターは、山梨リニア実験線での超電導リニアの時速500キロ走行を間近で見学できる日本で唯一の施設です。世界最高速度を記録した試験車両をシンボル展示とし、リニアジオラマや超電導リニアのしくみがわかる装置など体験学習機能が充実した施設です。

## どきどきリニア館

## 山梨の未来を見てみよう!(3階)

©Forward Stroke Inc.

©Forward Stroke Inc.

リニア中央新幹線開通後の山梨をイメージした大型ジオラマやリニアに乗車した感覚を味わえるリニアシアターで山梨の未来をイメージできる。

## 超電導リニアのしくみを体験しよう!(2階)

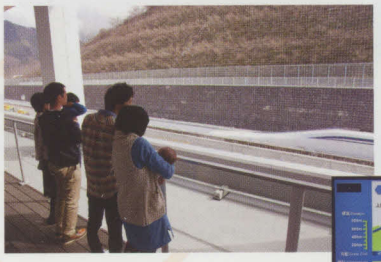
磁気浮上走行が体験できるミニリニアや超電導リニアのしくみがわかる体験装置、超電導体の特性がわかる超電導コースターで楽しめる。

©Forward Stroke Inc.

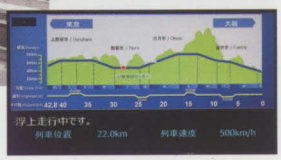
## リニアの歴史を学ぼう!(1階)

平成15年に当時の世界最高速度581km/hを記録したMLX01-2の実車を展示。
このほか50年以上に渡るリニア開発の歴史を模型と年表で学べる。

## 時速500kmを体感しよう!



リニア見学センターでは、全てのフロアから時速500kmで走行する超電導リニアを見られる。特に2階の屋外見学テラスでは、500km走行の風や音を生で感じることができる。




## 施設案内

開館時間 **9:00〜17:00**(入館は16:30まで)
休館日 **毎週月曜日**(月曜日が祝日の場合は、翌火曜日)(火曜日が祝日の場合は開館)
**祝日の翌日**(祝日の翌日が金・土・日曜日の場合は開館)
**年末年始**(12/29〜1/3)※祝日には振替休日を含みます。
入館料 [**一般・大学生**] 420円 [**高校生**] 310円 [**中学生・小学生**] 200円
(20名以上団体割引あり)※わくわくやまなし館は無料
駐車場 **無料**

〒402-0006 山梨県都留市小形山2381
**TEL 0554-45-8121 FAX 0554-45-8122**
http://www.linear-museum.pref.yamanashi.jp

わくわくやまなし館では、1階に山梨のお土産のほか、リニアグッズが購入できる「SHOP2027」があり、2階では県内の観光情報を発信している。

## リニアファンクラブ

山梨県のホームページ上に山梨リニアファンクラブを設立し、リニア中央新幹線の早期実現に向けたサポーターとして、ファンクラブの会員を募集しています。ファンクラブではリニアに関する最新の情報やリニア中央新幹線、山梨リニア実験線などについて紹介しています。

会員に新規にご登録いただける方は下記にアクセスのうえ、ご登録をお願いします。(登録無料)

**http://www.pref.yamanashi.jp/linear-kt/linear-fc-top.html**


内容についてのお問い合わせ先
**リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会**
**(事務局:山梨県リニア交通局リニア推進課内)**
〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1
**TEL 055-223-1664 FAX 055-223-1666**
E-mail linear-kt@pref.yamanashi.lg.jp
HP http://www.pref.yamanashi.jp/linear-kt/index.html


2016.3版